

提出されたご意見とそれに対する本市の考え方

項目		ご意見等の内容	本市の考え方	対応内訳
第 2 章 地域の現状等	1	<p>（近隣自治体との連携について）</p> <p>人の移動について、合志市に加え、特に結びつきの強い菊陽町、益城町との具体的な連携はどのように図っていくのか。</p>	<p>目指す公共交通の将来像（88 頁）に記載のとおり、持続可能な公共交通の形成にあたっては、近隣自治体等と強固な連携関係を構築し、各事業に取り組んでいくことが重要と考えております。</p> <p>関連計画との整合や法定協議会の中での意見交換等を行いながら、近隣自治体との具体的な連携について検討を進めてまいります。</p>	対応 2 既記載
第 3 章 上位計画等の整理	2	<p>（都市交通マスタープランとの整合性について）</p> <p>地域核に光の森があがっているが、整合はどのようにとっていくのか。</p>	<p>地域公共交通網の将来像（107 頁）に記載のとおり、楠・光の森方面については、基幹公共交通軸として位置づけ、熊本都市圏都市交通マスタープランとの連携・整合を図ることとしております。</p>	対応 2 既記載
第 7 章 目標達成のための施策・事業	3	<p>（ゾーンシステムの乗換拠点について）</p> <p>8 つの基幹公共交通軸が設定されているが、定時性や速達性に優れる鉄軌道の延伸を進めることで、ゾーンシステムの乗換拠点を基本的には鉄道駅や市電の電停とすべきではないか。</p>	<p>鉄軌道は定時性や速達性に優れていますが、現状において鉄軌道がない基幹公共交通軸もあります。そこで、バスの定時性や速達性の強化を進め、鉄軌道とバスで基幹公共交通軸を担うこととしており、ゾーンシステムの乗換拠点は駅・電停・バス停としているところです。合わせて市電延伸等についても検討を進めてまいります。</p> <p>ご意見に関しては、今後の公共交通相互やその他交通手段との結節強化にむけて参考とさせていただきます。</p>	対応 4 事業参考
その他	4	<p>（東バイパスライナーについて）</p> <p>東バイパスライナーの循環ルートとしてアクアドームを経由してはどうか。</p> <p>また、最終バス停は西部車庫ではなく、地域拠点である城山地区としてはどうか。</p>	<p>東バイパスライナーのルートについては、利便性向上にむけ利用実態等を踏まえ、検討してまいります。</p>	対応 4 事業参考

<p>その他</p>	<p>5</p>	<p>(西区役所へのバスのダイヤ等について)  西区役所行きバスは、各バス停留所の時刻揭示板に「西区役所前」の表示が欠落しており、また、都合のいい時間で利用できるダイヤとなっていない。  公共交通利用による西区役所への移動について改善していただきたい。</p>	<p>路線バスの時刻揭示板やダイヤ等については、バス事業者において利用実態や区間の輸送人員等のデータに基づき策定しております。  ご意見に関しては関係者と共有し、今後の事業の参考とさせていただきます。</p>	<p>対応4  事業参考</p>
<p>その他</p>	<p>6</p>	<p>(電気検定所前バス停等について)  「電気検定所前バス停」の位置を熊本駅西口近くに移設し、名称も「新幹線熊本駅前バス停」に変更することにより、利便性向上を図ってはどうか。  また、「春日寺前バス停」から「新幹線熊本駅前バス停」の間隔が長すぎるので、中間に「新五反バス停」を新設復元してはどうか。</p>	<p>路線バスに関するご意見として関係者と共有させていただきます。</p>	<p>対応5  その他</p>
<p>その他</p>	<p>7</p>	<p>(五反バス停について)  九州新幹線事業と連続立体交差事業の影響により撤去された、「五反バス停」を復元して欲しい。</p>	<p>五反バス停は、九州新幹線事業と連続立体交差事業に伴い、春日陸橋を撤去することが必要となったため、新設された春日池上線に整備された新たなバスルートに集約移設を行ったものです。旧バスルートの復元については、様々な課題があり困難な状況でございます。</p>	<p>対応5  その他</p>